

「全国プロポーズの言葉」審査

県内2組優秀賞

都内で表彰

6月の第1日曜日のセンターが毎年実施し「プロポーズの日」にしている「全国プロポーズの言葉コンテスト」
○法人地域活性化支援の表彰式が19日、都内



夫へのプロポーズの言葉を紹介する山田由紀子さん（中央）と黒木美紀さん（左）19日、都内

で開かれた。全国4029点の応募から本県の夫婦2組の妻から夫へのプロポーズの言葉が優秀賞に選ばれた。

受賞したのは静岡市葵区の主婦山田由紀子さん(43)と、藤枝市の主婦黒木美紀さん(37)。表彰式ではプロポーズの言葉がエピソードとともに紹介された。

山田さんは2年前から中国・上海に単身赴任している夫哲也さん(44)に長年の感謝を込めて「上海でも、月、見えてる？結婚記念日の毎月25日は、同じ時間に、同じ思いで、同じ月を見ようね」と伝

えた。

黒木さんは2年前、好きなオペラの舞台となったイタリヤ・フィレンツェのベッキョ橋で夫邦貴さん(45)にプロポーズ。オペラの一

場面をまねて「ここで結婚指輪を買ってくれないと、このベッキョ橋からアルノ川へ身を投げます」と求婚した。

プロポーズにふさわしい場所を「恋人の聖地」として選定する事業が今年で10周年を迎えるのを記念し、地方自治体の首長らでつくる「恋人の聖地観光協会」の発足も発表された。

プロポーズの日は、全日本ブライダル協会が1994年に制定した記念日で、今年は6月5日。
(東京編集部・中川琳)